



「市制40周年」の文字をかたどったドミノ



並べる手が震えます

市制施行40周年記念事業 伊達青年会議所「ドミノ倒し」

7月25日～28日、市総合体育館のサブアリーナで、社団法人伊達青年会議所主催の「伊達ドミノ2012」が行われました。

「子どもたちの健やかな成長を…」と願う同会議所メンバーが、毎年実施している「青少年育成事業」の一環として企画、市制施行40周年の今年、市内の小学生や保護者を含む148名が参加し、伊達市の面積444.28㎡にちなんで44,428個のドミノを並べました。

緊張感が漂う会場では、参加者が伊達市を代表する特産物ほたて、「王鰈」の名前でおなじみの高級魚マツカワ、大滝区のきのこなど全9種類の図柄を作成しました。

夏休み子ども工作教室 ～くすだまをつくろう～

8月1日、市図書館で「夏休み子ども工作教室～くすだまをつくろう～」が開催されました。

毎年恒例のこの行事には、市内の小学校に通う1年生から4年生の児童16名が参加し、お祝いなどに使われる「くすだま」作りに挑戦。

くすだまの中から飛び出す垂れ幕に文字を書く表情は真剣そのもの。割れる仕掛けを作るのに苦労しながらも、それぞれの個性あふれる作品の出来上がり！お誕生会などに使ってくださいね。



上手にできたかな～

記念撮影に応じるFMびゅう沼田社長と菊谷市長



まちを「おと」で伝える FMびゅう伊達エリア放送開始

8月3日、室蘭まちづくり放送株式会社（通称FMびゅう）は、市内館山町に伊達中継局を開局し、伊達エリアでの放送を開始しました。

放送開始前の7月30日には、同社の沼田勇也社長が市役所を訪れ、菊谷市長と市提供の行政情報に関する番組放送契約を締結しました。また、有珠山噴火などの緊急時に最も有効な情報伝達手段となるFMラジオを活用し、市が発表する避難勧告などの災害情報の放送に関する防災協定を交わしました。

今年も心を和ませる花だんが勢揃い 第33回花だんコンクール審査会

8月21日、市連合自治会協議会の「花だんコンクール審査会」が開催されました。

同協議会では、花だんが地域に潤いを与え、暮らしやすい住環境をその住民に提供できるとの思いからこの事業を企画。今年で33回目を迎えた今回は、市内の自治会や小学校など18団体、個人6名が参加。

花だんの美しさや日頃の管理状況などの項目について、同協議会委員と市内在住で北海道認定の『フラワーマスター』らが審査を行いました。



個人花だんの部最優秀賞・佐藤圭子さん宅の花だん

8月13日～15日、カルチャーセンターに全作品が展示されました



伊達の未来は彼らが主役 「10年後の住みたい伊達」絵画巡回パネル展

10年後の伊達をどのように想像しますか。

8月1日、市制施行40周年事業「10年後の住みたい伊達」絵画の巡回パネル展が、黎明観と市役所1階ロビーで始まりました。このパネル展は、市内の小学校高学年や中学生が考える、未来の住みたい伊達をイメージした絵画全307作品を入れ替えながら展示するもので、市内に大型ビルが建設されている様子など、おとなには想像できないユニークな発想の絵画が来場者の目を引いていました。



伊達市の新たなスタート 市制施行40周年記念式典・祝賀会

8月23日、市内のホテルで、「市制施行40周年記念式典・祝賀会」が開催されました。

伊達開拓の祖、伊達邦成が明治政府から開拓の命を受けた明治2年8月23日を開基の日と定め、毎年8月23日を開基記念日としているこの日、記念式典では伊達の開拓からこれまでを振り返るオープニング映像が放映された後、市長から長年の市政運営に貢献した市民や団体などに市政功労表彰が授与されました。

また、今回26歳の若さで演劇界の芥川賞と呼ばれる「第56回岸田國士戯曲賞」を受賞した伊達市出身の劇作家、藤田貴大さんに伊達市初の『伊達市特別表彰』が授与されました。



市制施行40周年を記念し、挨拶する菊谷市長



伊達市特別表彰を受賞した藤田貴大さん